

第4章 計画の基本的な考え方

第4章 計画の基本的な考え方

第1節 計画の基本理念

高齢者人口がピークを迎える2040年を見通すと、75歳以上人口が急増し、医療・介護双方のニーズを有する高齢者が増加する一方で、生産年齢人口が急減することが見込まれています。今後はこれまで以上に中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえて介護サービス基盤を整備するとともに、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保などが求められています。

市では、前期計画（第8期）期間中にも、高齢者に寄り添った視点で、さまざまな市独自の施策を展開してきました。高齢者あんしんセンターを地域包括ケアシステム構築の推進拠点として位置付け、「待つ福祉から出向く福祉へ」を合言葉に積極的に地域を訪問し、高齢者一人ひとりに寄り添った支援と、高齢者を地域で支え合うための関係機関とのネットワークづくりなどに取り組んできました。

第9期計画では、前期計画の理念を踏まえつつ、さらにスピード感を持って施策の展開を図り、誰もが、『いつまでも安心して暮らせるまち 高崎』の実現を目指します。

【基本理念】

～いつまでも安心して暮らせるまち 高崎～

第2節 計画の基本方針

基本理念の実現に向け、誰もが、年齢を重ね、どのような状況になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現に向け、高齢者の自立支援や介護予防・重度化防止を推進するとともに、人と人とのつながりや地域の自主性を尊重し、人や地域に寄り添った施策を展開するため、次のとおり基本方針を定めます。

【基本方針】

- I 元気に暮らし続けるためのいきがい・健康づくりの促進
- II 安心して暮らし続けるための相談・支援の充実
- III 住み慣れた地域に住み続けられるまちづくりの推進
- IV 持続可能な質の高い介護サービスの提供

I 元気に暮らし続けるためのいきがい・健康づくりの促進

年齢を重ねても、心身共に健康に、生きがいを持って暮らし続けるためには、日常的な健康づくりや介護予防の実践、またスポーツ活動や文化活動、ボランティア活動や就労など継続した社会参加が必要です。高齢者自らが健康づくりや介護予防の実践に積極的に取り組むことができるよう、環境の整備を進めるとともに、これまでの豊かな知識や経験、能力を生かし、生きがいを持っていきいきと暮らし、地域や社会で活躍し続けられるよう、多彩な学びの機会の提供のほか、ボランティア活動への支援や就労の機会の確保など、高齢者の活動機会の充実に取り組みます。

II 安心して暮らし続けるための相談・支援の充実

誰もが、どんな時でも、住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、不安を解消することのできる相談・支援体制の整備と、見守り、支え合い、助け合う地域社会の構築が求められています。住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができるよう切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制を強化していくと共に、支え手側、受け手側とに分かれることなく、誰もが役割を持ち、共に支えあい、活躍できる地域共生社会の実現に向け一層取り組みます。

III 住み慣れた地域に住み続けられるまちづくりの推進

いつまでも安心して暮らし続けるためには、生活の基盤である「住まい」の確保や、可能な限り自立して日常生活を営むことのできるよう生活環境等を整えること、また災害等へ備えることも重要です。高齢者が身体的状況や経済的状況等に応じた適切な住まいを選択できるよう住環境の整備を進めるとともに、災害対策や移動支援など、日々の生活を送るうえで欠かせない取り組みについても、今後より一層充実させていきます。また、認知症への社会の理解を深め、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として地域を共に創り、共に生きていく社会の実現を目指します。

IV 持続可能な質の高い介護サービスの提供

介護保険制度そのものを持続可能なものとして維持していくために、サービス基盤の整備の在り方を考えていくことや、要介護状態になっても安心した生活を送るために、必要な介護サービスを速やかに利用でき、必要に応じた介護サービスを選択できる環境を整えていくことが重要です。特別養護老人ホーム等の施設整備を進めるとともに、要介護度が高くなっても在宅での生活を維持できるための在宅サービスの充実をはかり、また介護保険制度の持続可能な運営に向けて、介護給付費の適正化や介護人材の確保・定着のための取り組みをより一層進めます。

第4章 計画の基本的な考え方

第3節 施策の体系

基本理念	基本方針
す い つ ま で も 安 心 し て 暮 ら せ る ま ち 高 崎 す	I 元気に暮らし続けるためのいきがい・健康づくりの促進
	II 安心して暮らし続けるための相談・支援の充実
	III 住み慣れた地域に住み続けられるまちづくりの推進
	IV 持続可能な質の高い介護サービスの提供

施策	具体的施策
1 健康づくり・介護予防の推進	(1) 健康づくり・健康診断の推進
	(2) 介護予防の推進
2 社会参加の促進	(1) いきがいづくりへの支援
	(2) 通いの場等への支援
1 相談・支援体制の充実	(1) 高齢者あんしんセンターの機能強化
	(2) 権利擁護等への取り組みの強化
2 多機関の協働による支援	(1) 連携して支えあう仕組みづくりの強化
	(2) 在宅医療・介護連携の推進
3 在宅生活を支える支援	(1) 市独自サービスの充実
	(2) 介護予防・生活支援サービスの充実
1 暮らしやすい環境の整備	(1) 住環境の整備
	(2) 移動支援の充実
	(3) 災害・感染症に対する体制整備
2 認知症施策の推進	(1) 本人や介護者への支援
	(2) 社会参加支援
1 介護サービス基盤の整備・充実	(1) 介護サービス基盤の整備
	(2) 介護サービスの質の向上
	(3) 介護サービス利用者や介護者への支援
2 持続可能なサービス提供体制の構築	(1) 介護人材の確保と定着支援
	(2) 介護現場の生産性の向上
3 介護給付費の適正化	(1) 指導体制の強化
	(2) 要介護認定・介護給付費の適正化